

R 7年度 学校評価アンケートの結果と考察

令和 7 年 7 月実施

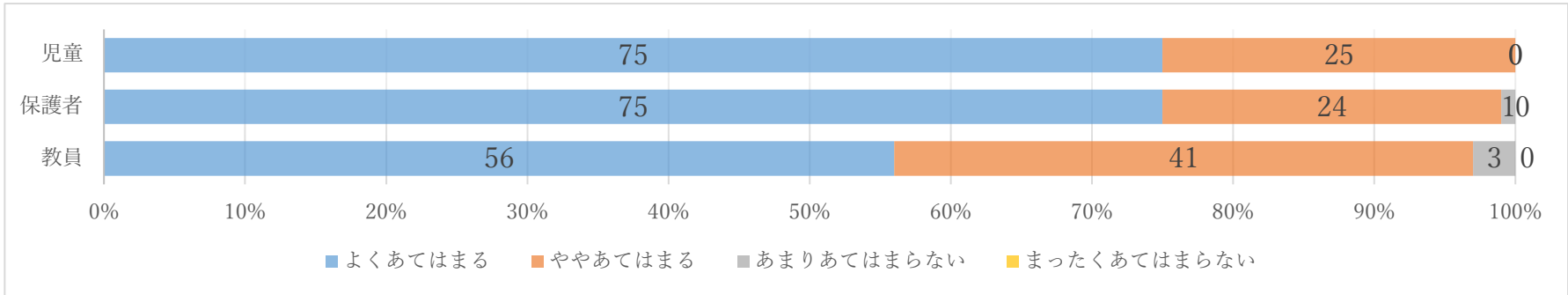
よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

生きる力 ～つよく ただしく うるわしく～ The Last Year

1 健康や安全に気を付けた。(児童)

学校は、児童の健康や安全のための教育に取り組んでいる。(保護者)

児童の健康や安全のための教育に取り組んだ。(教員)

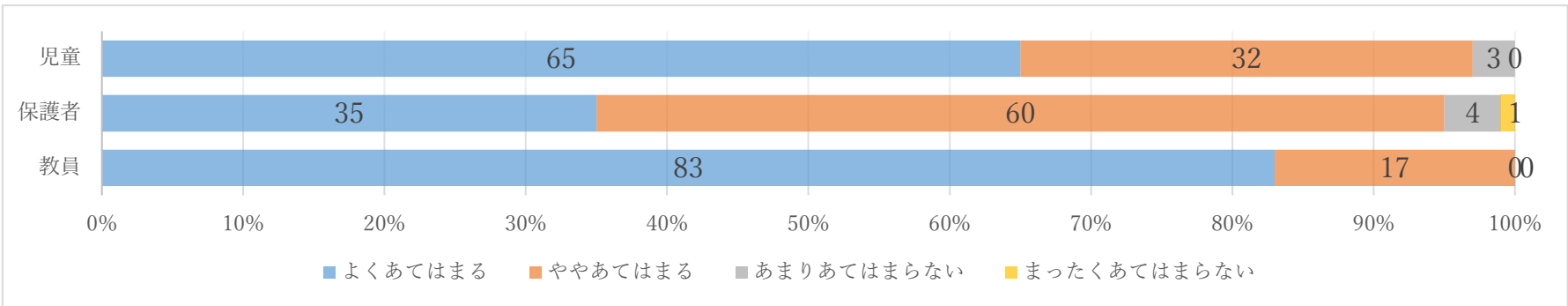


- ・ 3 者とも肯定率が 95%を超えている。
- ・ 児童の健康、安全面に不安を感じている教員が一定数おり、指導や相談を続けていく必要がある。

2 挨拶、規則正しい生活ができた。(児童)

お子さんは、挨拶など基本的な生活習慣が身に付いている。(保護者)

児童には、挨拶など基本的な生活習慣が身に付いている。(教員)

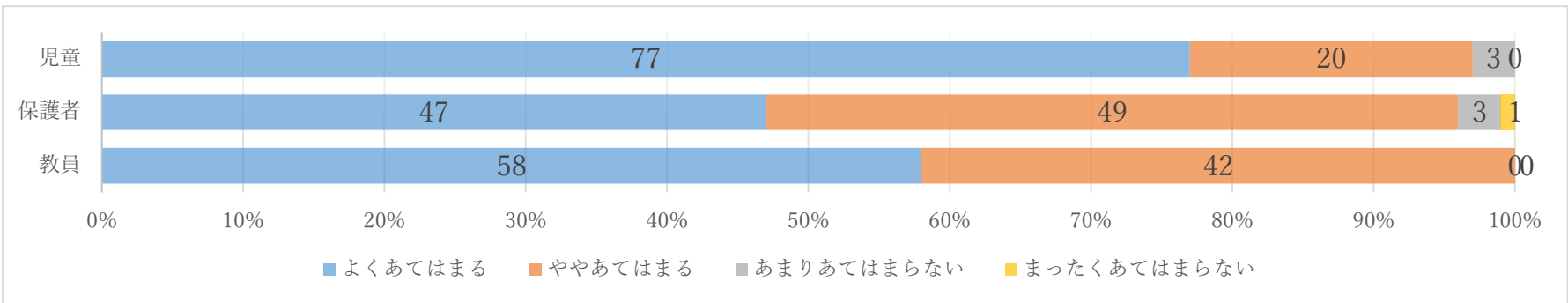


- ・ 3 者とも肯定率が 95%を超えている。
- ・ 「あいさつウィーク」の取組を通して、挨拶に関する意識が高まっている。
- ・ 学校内と学校外での児童の挨拶に差があるようだ。学校での取組を家庭や地域に広げていきたい。

3 クラスのみんなと協力した。(児童)

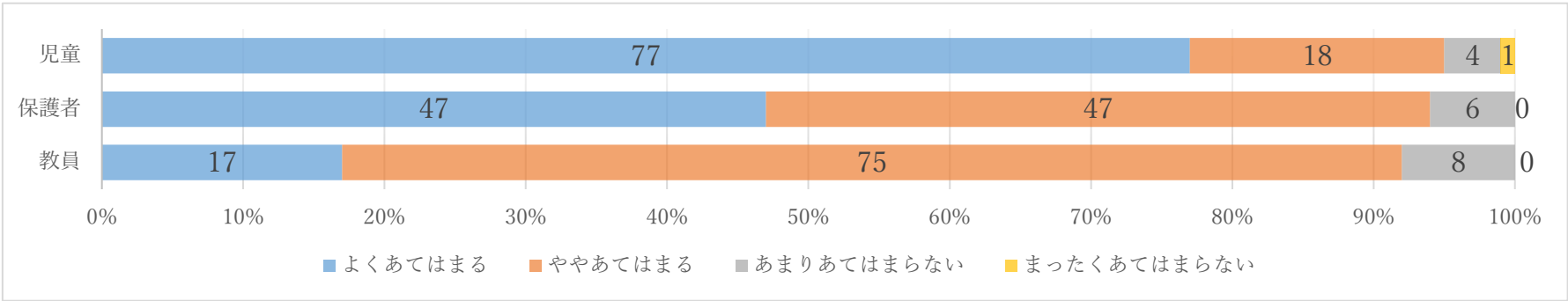
学校は、望ましい集団づくりに取り組んでいる。(保護者)

望ましい集団づくりに取り組んだ。(教師)



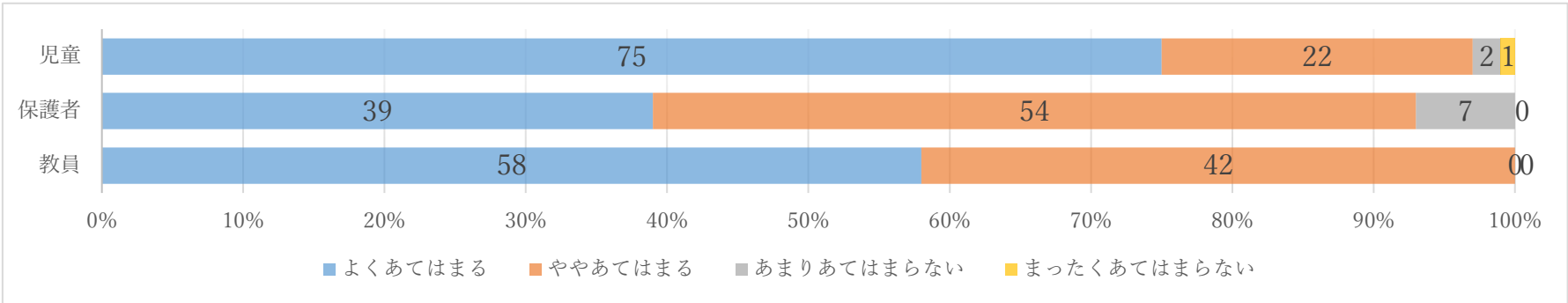
- ・ 3 者とも肯定率が 95%を超えている。
- ・ 一方、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と答えている児童、保護者がおり、学級経営を基盤とした望ましい集団づくりに今後も力を入れていく必要がある。

4 学校の行事が楽しい。(児童)
学校は、行事の工夫や改善に取り組んでいる。(保護者)
行事の工夫や改善に取り組んだ。(教員)



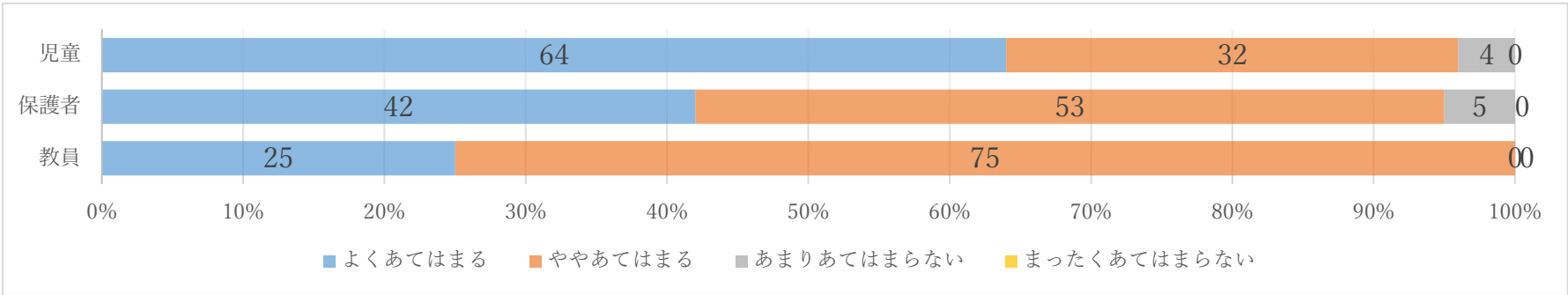
- ・ 3 者とも肯定率が 90%を超えている。
- ・ 行事を楽しみにしている児童が多いことが分かる。
- ・ 行事精選に取り組むとともに、現状を踏まえたバランスのよい行事企画・運営を行う。

5 先生たちは、自分をよくみてくれている。(児童)
学校は、一人一人に合った支援や指導に取り組んでいる。(保護者)
一人一人に合った支援や指導に取り組んだ。(教員)



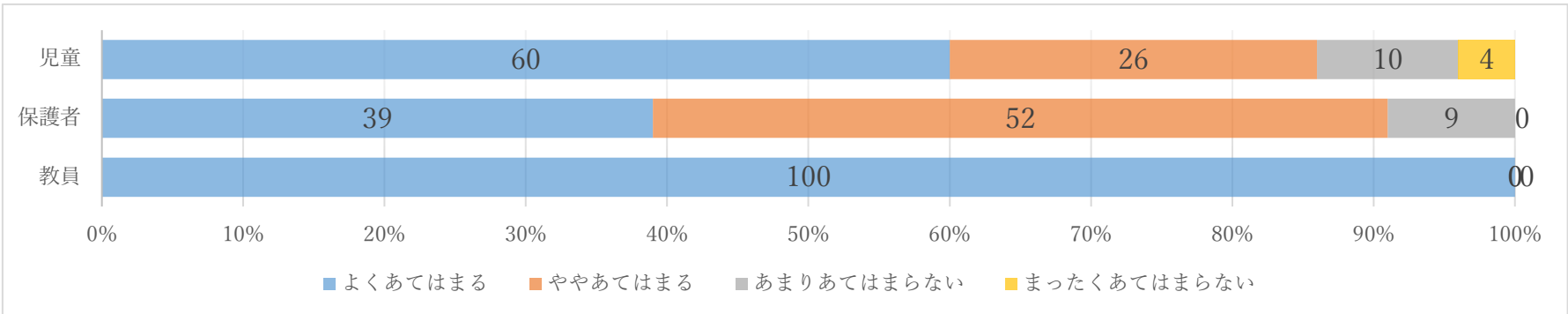
- ・ 3 者とも肯定率が 90%を超えている。
- ・ 一方、数名ではあるが不安を感じている児童、保護者がおり、一層相談等をしやすい雰囲気づくりに努める必要がある。

6 授業がわかる。(児童)
学校は、分かる授業のため工夫している。(保護者)
分かる授業のため工夫した。(教員)



- ・ 3 者とも肯定率が 95%を超えている。
- ・ 一方で、授業に不安を感じている児童、保護者が一定数いることを念頭に置き、個別最適な指導を探っていく必要がある。

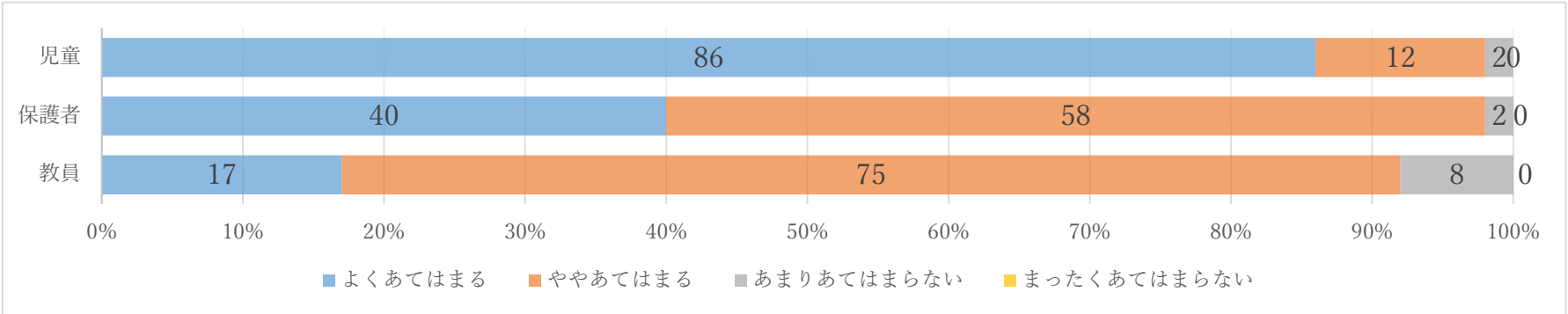
7 神山小にいじめはない。(児童)
学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。(保護者)
いじめのない学校づくりに取り組んだ。(教員)



- ・ 日々の生活の中で、「いじめをした」「いじめられた」という認識を持っている児童が一定数いる。
- ・ 保護者の中に、いじめに関して不安を感じている方が一定数いる。
- ・ 教員はいじめを絶対に許さないという姿勢で取り組んでいることが分かる。

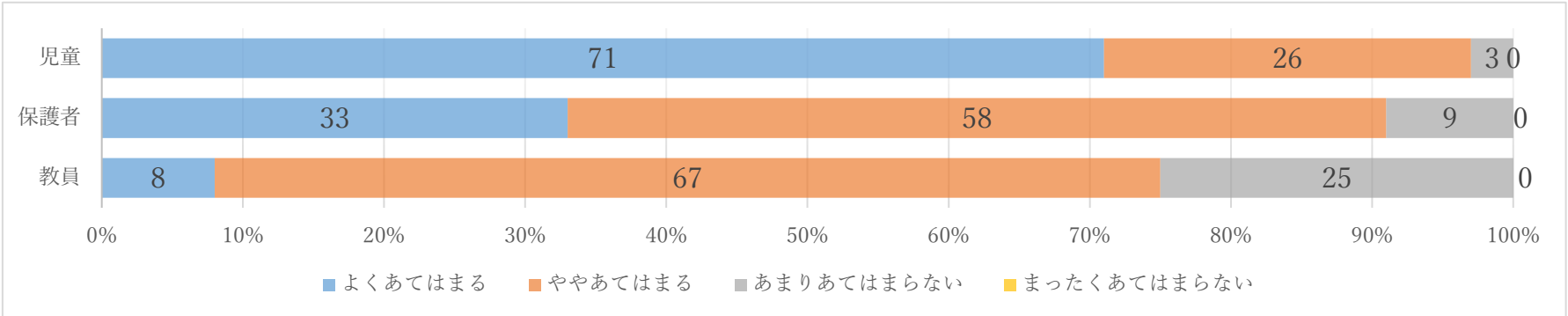
- ・不安を抱えている児童のケアに努めるとともに、いじめを許さない学校・学級風土づくりに一層努めていきたい。

8 友達を大切にしている。(児童)
お子さんは、他者を大切にする心情・態度が育っている。(保護者)
児童は、他者を大切にする心情・態度が育っている。(教員)



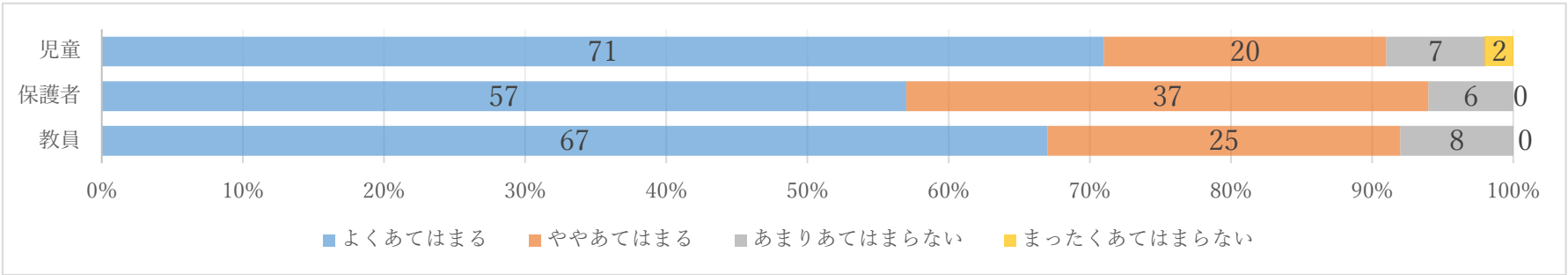
- ・3者とも肯定率が90%を超えている。
- ・児童については肯定率が98%ある。しかしながら、他者を思いやる言葉掛けについて、具体的場面を押さえながら指導を継続していく必要がある。

9 きまりを守っている。(児童)
お子さんは、規範意識が育っている。(保護者)
児童は、規範意識が育っている。(教員)



- ・児童、保護者の肯定率が90%を超えているが、教員の肯定率が70%台となっている。
- ・児童は、きまりやルールを守ろう、守れていると意識、努力をしている様子が伺えるが、守れていないと感じている児童がいる。
- ・教員は児童の規範意識が十分ではないと感じている。今後も学校全体で規範意識の向上に努めたい。

10 学校は安心できる。(児童)
お子さんを、安心して学校に通わせている。(保護者)
安心できる職場である。(教員)



- ・3者とも肯定率が90%を超えている。
- ・一方、3者ともに「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答している者が一定数おり、それぞれの立場から見た安心について考える必要がある。

<自由記述>

児童

- ・嫌なことを言われることがある。
- ・友達になぐられる。
- ・最近いじめが増えています。
- ・クラスの子がわたしをねらってくるから私は学校に行きたくなくなる。
→教育相談を実施する。

保護者

- ・登下校時かなり暑くなり、学校に着く頃には汗だくになっている。荷物がかなり重く身体への負担が大きい。帰宅時も、暑いことが多く帰宅
まだ、身体も小さい子どもにタブレットなどは負担が大きいように思う。登校時は先生方が朝早くから通学路に立ってくださり、安全確認し
ていただいている。朝早くからとてもありがたい。
- ・低学年時は、毎日のタブレットの持ち帰りは負担が大きい。2学期も暑いと思うので、改善していただきたい。
- ・タブレット学習は学校だけでするのがいいと思います。
→教科書等可能な限り学校に置いたままにし、児童の荷物の軽減に努めている。学校での学習と家庭での学習を連動させるために、タブレ
ットの持ち帰りは必要。
- ・登校時の見守りをお願いします。
→学級担任は、原則として登校してきた児童を教室で迎えるので登校見守りはできない。登校時の見守りは可能な教員で継続する。
- ・朝の集合時間を守ってほしいなと思います。
→分団会で集団登校の集合時刻が守れているか振り返りをさせる。
- ・小学教師による性犯罪のニュースが多く、田舎だから安全とも思えなくなりました。性的な意味を具体的に理解していない子供たちでも大人
の視線や触り方を「気持ちが悪い」と認識して体験した嫌悪感を話してくれる子もいました。我が小学校は安全でしょうか?
→服務規律の徹底を図る。
- ・見学に行くときにタクシーに乗ったと聞いた。でも、シートベルトをするように言われず、確認もされず、しなかったから怖かったと言っ
ていた。命に関わることなので、必ずシートベルトを着用するようにさせて、確認してほしい。
→シートベルト着用を家庭、学校でも呼び掛けていくとともに、校外学習時、車を利用する際は着用確認を行う。
- ・交友関係に少し不安がある。
→ジブンミカタプログラム、やわたはま元気ノートを活用して児童の実態把握に努め、必要に応じて教育相談を実施する。また、ハートな
んでも相談員を活用する。
- ・家庭の車での送迎時(特にお迎え時)正門前の坂道に停める方が多く、離合困難で危ないときが多々あります。送迎時の駐車場の確保について
検討していただきたいです。
→現在の学校及び学校周辺の構造上、駐車場の確保はできない。細心の注意を払っての送迎をお願いしたい。
- ・いつもお忙しい中、子どもたちの為にご指導ありがとうございます。いつも温かく、時には厳しく子どもの指導を行っていただくおかげで、
すくすくと育ってくれている我が子を見ていると、毎日安心して家から送り出せます。今後もよろしくお願いします。
- ・いじめやいじり、授業妨害などを行う加害者がカウンセリングを行う仕組みを作ってほしいです。
- ・校長先生、教頭先生、養護の先生に話しやすい雰囲気があり、相談しやすい。これは、いつも子供と関わっていてくれ、様子をみてくれてい
るのだと思い、とても安心できています。あと、学校が綺麗です。そうじも、校内の展示物も工夫が感じます。学校に行くのが楽しみです。
- ・叱るときはしっかり叱っていただき、安心して通わすことができます。いつもありがとうございます。
- ・先生方に気かけ、サポートしていただいて楽しく通学しています。お友達も男子も女子も優しくて学校へ行くのが楽しみです。自宅でも学
校の話をしてくれるようになり、鼻歌を歌ったり、お友達と約束して遊んだり、とても充実した生活を送ることができています。快く受け入
れていただいて、本当に感謝しています。

教員

- ・子どもの教育環境としても、職場としても、静かで落ち着いた場所であるようにしたい。

- ・「挨拶、返事、靴並べ」の生徒指導重点3項目を中心とした規範意識の徹底
 - ・支え合い、戒め合う学級経営　思いやりなき言葉は見逃さず指導